

1. 締切期日

- ・締切は、2019年10月31日（月）17時とする。

2. 提出先

- ・執筆した原稿は、Eメールにて電子データ（Wordファイル原稿）の形で編集委員会宛て（jactfl\_genko-group@keio.jp）に送付する。
- ・使用ソフト：原稿は「マイクロソフト社」の「Microsoft Office Word（ワード）」で作成する。

3. 連絡先

- ・連絡先は、以下のとおり。  
メールアドレス：jactfl\_genko-group@keio.jp

4. 分量

- ・原稿は、論考と報告の2カテゴリとする。執筆者は、原稿送付の際、希望するカテゴリを題名の前に記載すること。
- ・論考は、所定の形式で、原則として10～16ページとする。
- ・報告は、所定の形式で、原則として3～10ページとする。
- ・規定ページよりも多くなる場合は、編集委員会で協議した上で可否を判断し、決定する。

5. 原稿の採否

- ・原稿の採否は、編集委員会が厳密な審査の上決定する。

6. 査読

- ・論考と報告について、編集委員会及び同委員会が依頼した専門家が査読を行い、適宜修正等を執筆者に求めるものとする。なお、論考と報告の別は、執筆者の申し出を元に、編集委員会が決定する。

7. 構成

- ・原則として、「テンプレート\_JACTFL 第7号」を使用する。
- ・用紙サイズはB5縦とする。

8. タイトル

- ・タイトルは、12pで中央寄せとする。
- ・フォントは、MS Pゴシックとする。

9. 著者名

- ・著者名は、11pで右寄せとする。

- ・フォントは、MS P ゴシックとする。

#### 10. 章立て

- ・章立ては、10.5p とする。
- ・フォントは、MS P ゴシックとする。
- ・数字及び句読点は、「1. ○○」「1.1 ○○」のように半角とする。

#### 11. 本文

- ・本文は、10.5p とする。
- ・段落のはじめは、1マスあける。
- ・フォントは、MS P 明朝とする。
- ・日本語の句読点は「，」「。」ではなく、「、」「。」を使う。
- ・数字の表記は、原則として半角とする。
- ・年号の表記は、原則として西暦とする。但し、西暦（和暦）年、和暦（西暦）年も可とする。
- ・引用は、（著者名 2016:57-60）のように記す。
- ・図および表は、図 1、表 1 のように記し、本文中に挿入する。
- ・図のタイトルは図の下に中央寄せで記す。文字サイズは 9p とし、フォントは MS P ゴシックとする。
- ・表のタイトルは表の上に中央寄せで記す。文字サイズは 9p とし、フォントは MS P ゴシックとする。
- ・著者の所属は、最後の文から 1 行空け、右寄せで、（複言語教育研究所）のように記す。フォントは、本文と同じ MS P 明朝、サイズも 10.5p とする。

#### 12. 註

- ・註は、脚注とする。
- ・註の文字サイズは、9p とする。
- ・フォントは、MS P 明朝とする。

#### 13. 参考文献

- ・「参考文献」の表記は、MS P ゴシックとする。
- ・個々の文献は、基本的に論考・報告で引用した文献を記載する。
- ・日本語の文献については、文字サイズを 10p、フォントを MS P 明朝とする。
- ・日本語の単行本は、その書名を『』で記す。
- ・日本語の学術雑誌は、その誌名を『』、論文名は「」で記し、掲載雑誌のページを必ず明記する。
- ・印欧語の文献については、文字サイズを 10p、フォントを Times New Roman とする。
- ・印欧語などのアルファベット表記の文献は、単行本の書名、学術雑誌の誌名をイタリックで記す。学術雑誌の論文タイトルはイタリックで記さず、掲載雑誌のページを明記する。
- ・日本語および印欧語以外の言語の文献は、当該言語の学術雑誌の形式に準拠する。

14. インターネット検索による文献表記

- ・インターネット検索による文献表記の際には、URL 情報に加えて、[accessed 11 May 2017]のように検索年月日を明記する。

15. 英文タイトル

- ・メインテーマ：サブテーマとする。
- ・タイトルは、中央寄せ、文字サイズを 12p、フォントを Arial とする。
- ・タイトルは行頭、固有名詞を大文字書きにし、その他は小文字とする。
- ・著者名は、中央寄せ、文字サイズを 11p、フォントを Arial とする。著者名が境 一三の場合、Kazumi SAKAI のようにする。

16. 英文要旨

- ・本文は、段落の始めを 3 文字分あける。文字サイズを 10.5p、フォントを Arial とする。
- ・本文分量は、250～500 字程度（おおよそ 4～8 行）とする。

17. 著作権について

本会誌に投稿される論文等の著作権は、JACTFL（以下、「本学会」）に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属します。本学会発行の出版物に投稿される方は、この規程に従うことに同意したものと見なしますのでご了承ください。

執筆にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮してください。

本会誌に掲載されたものを、1年を経た後に PDF としてホームページで公開します。つきましては、いただいた原稿の著作権につき下記の項目にご承諾をいただきたく、お願いいたします。なお、第3項は、皆さんが著書などに転載される場合のことを想定しております。本誌掲載は、ご承諾を前提といたしますので、お手数でもご記入の上ご返信いただきますよう、お願いいたします。（氏名は著者全員を書くこと）

-----

- 1) 著作権は著者とJACTFLの共有とする。
- 2) 冊子刊行の1年後に電子媒体として公開される。
- 3) 冊子刊行から1年を経た後、JACTFL理事会の承認を得て転載可能とする。

上記項目を 承諾する 承諾しない

年月日

氏名

-----